

# 平成 23 年度ホタテガイ採苗情報 (第 4 報)

平成 23 年 6 月 10 日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター  
関係漁業協同組合



## 県北を中心に付着稚貝数が増加

### < 調査結果の概要 >

- ラーバは県中部以北で大型個体が多数出現。
  - 唐丹湾の水深 10m 層の水温は 10.2℃ と、例年よりやや低め。
  - 付着稚貝数は県北部を中心に県中南部以北で増加。付着は進行中。
- < 陸奥湾の状況：付着が進行中（6月9日発行青森県採苗速報） >
- ラーバの出現数は全湾平均で 1,191 個/m<sup>3</sup> と、減少。
  - 試験採苗器の付着稚貝数は 32~2,560 個/袋（6~14 日間）と、概ね増加。
- < 噴火湾の状況：採苗器の投入準備を指示（5月27日発行噴火湾情報） >
- 噴火湾沖合にはラーバが小~中型個体を主体に 4,894 個/m<sup>3</sup> と高密度で分布。

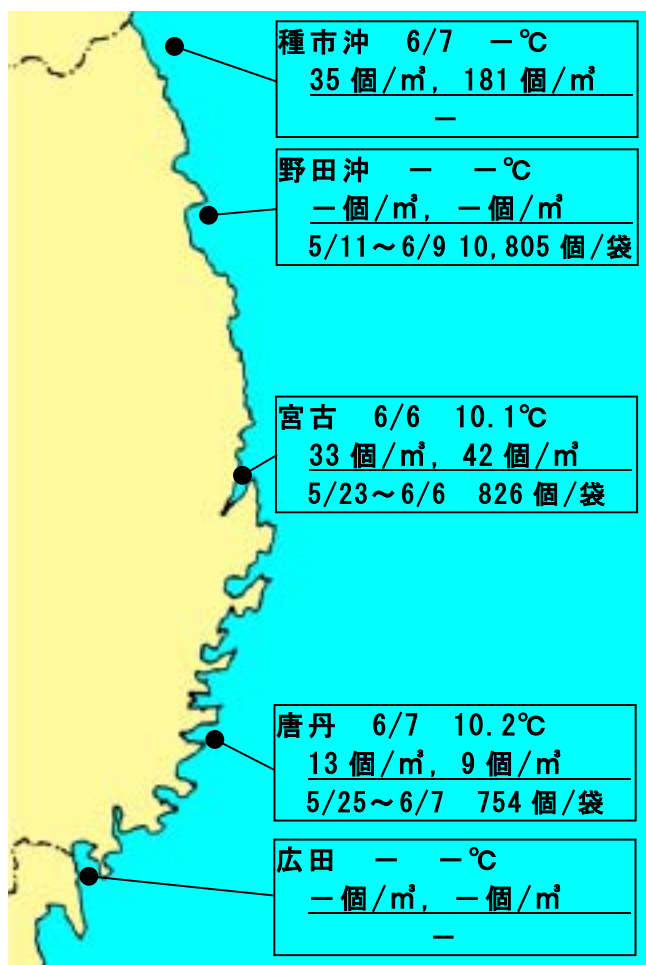


図 1 各定点の調査結果

調査点	調査日	10m層水温
ラーバ出現数 (200μ未満、200μ以上)		
試験採苗器垂下期間		付着稚貝数

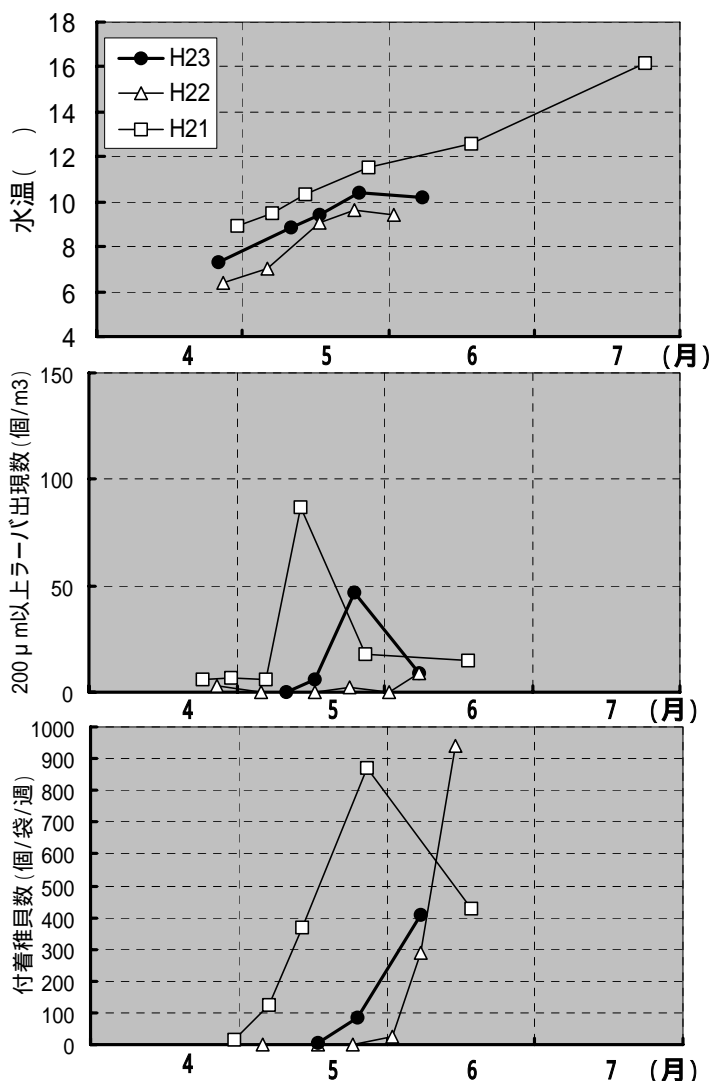


図 2 唐丹湾における水深 10m 層水温とラーバ・付着稚貝の出現状況

次報は、6月17日に発行する予定です。